

平成 16 年 1 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 16 年 5 月 14 日

上場会社名 コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
 (URL <http://www.cccj.co.jp>)
 代表者役職名 代表取締役社長 氏名 外村 直久
 問合せ先責任者役職名 経理担当部長 氏名 田島 洋二
 コード番号: 2580
 東証・名証第1部
 TEL (045) 222 - 5850

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成16年12月期第1四半期財務・業績の概況 (平成 16 年 1 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

四半期財務・業績の概況は、当期より作成しておりますので、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年12月期第1四半期	43,244	-	104	-	34	-	202	-
15年12月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年 12月期	205,169		4,528		4,662		3,019	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
16年12月期第1四半期	2,253	88	-	-
15年12月期第1四半期	-	-	-	-
(参考) 15年 12月期	32,898	64	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループは飲料の製造・販売を主たる業務としているため、四半期単位での業績には季節的変動があり、第1四半期は年間業績に対する割合が最も低い期間(四半期)であります。

また、当社グループを取り巻く清涼飲料業界の市場環境におきましては、好天に恵まれ市場規模が拡大したものの、低価格化や新製品の発売など企業間の販売競争がますます厳しさを増しております。

こうした状況下、当社グループは昨年4月に営業組織を地域別販売体制からチャネル別の販売体制に切り替え、その効果が定着してきたことに加え、本年度は中期経営計画の初年度として「カスタマーマネジメントの強化」「フルサービス自動販売機の増強」「新規開拓組織の強化」「管理・間接部門の統合推進」などの戦略・諸施策に着手いたしました。

これらの結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高43億244百万円、営業利益1億4百万円、経常利益34百万円と夫々前期及び当初の計画を上回りましたが、フルサービス自動販売機の増強に伴って老朽機の廃棄処理を前倒して特別損失に計上したことにより、四半期純利益は2億2百万円の損失となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年12月期第1四半期	110,664	85,957	77.7	957,003 36
15年12月期第1四半期	-	-	-	- -
(参考) 15年 12月期	112,547	86,695	77.0	964,450 66

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年12月期第1四半期	7	2,567	1,655	8,644
15年12月期第1四半期	-	-	-	-
(参考) 15年 12月期	2,857	4,644	1,778	9,564

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の総資産は、前期に比べ、流動資産が現金及び預金、売掛金などの減少により25億97百万円減少したものの、固定資産が東海物流センターの建設、販売機器などの増加により7億14百万円増加したことにより、18億83百万円の減少となりました。

また、負債は主として仕入債務の減少などにより11億44百万円減少し、株主資本は7億38百万円の減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として税金等調整前四半期純損失が2億59百万円、売上債権の減少が21億40百万円あったものの、仕入債務が15億97百万円減少したことなどにより、7百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、主として有形固定資産の取得による支出が28億41百万円あったこと等により、25億67百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、主として運転資金の借入による収入が25億円、配当金の支払額が8億8百万円あったこと等により、16億55百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期に比べ9億20百万円減少し86億44百万円となりました。

3. 平成16年12月期の連結業績予想（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	96,500	1,400	400	4,453 10
通期	209,000	6,000	2,100	23,378 77

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年12月期中間期および通期の業績予想につきましては、前回（平成16年2月13日付）公表いたしました予想に変更はありません。

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要因により、予想数値とは異なる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	平成16年12月期 第1四半期 (平成16年 3月31日現在)		(参 考) 平成15年12月期 (平成15年12月31日現在)	
		金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)			%		%
. 流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金		8,654		9,574	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金		11,429		13,570	
3. た な 卸 資 産		6,909		7,517	
4. 繰 延 税 金 資 産		634		363	
5. 未 収 入 金		5,299		5,014	
6. そ の 他		2,035		1,527	
7. 貸 倒 引 当 金		50		57	
流 動 資 産 合 計		34,912	31.5	37,510	33.3
. 固 定 資 産					
1. 有 形 固 定 資 産					
(1) 建 物 及 び 構 築 物		16,753		17,063	
(2) 機 械 装 置 及 び 運 搬 具		6,717		6,990	
(3) 販 売 機 器		16,841		16,315	
(4) 土 地		16,712		16,712	
(5) そ の 他		3,205		2,585	
有 形 固 定 資 産 合 計		60,231	54.4	59,668	53.0
2. 無 形 固 定 資 産		1,972	1.8	2,136	1.9
3. 投 資 そ の 他 の 資 産					
(1) 投 資 有 価 証 券		7,131		6,754	
(2) 長 期 貸 付 金		353		345	
(3) 繰 延 税 金 資 産		2,884		3,057	
(4) そ の 他		3,350		3,237	
(5) 貸 倒 引 当 金		171		163	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		13,547	12.3	13,231	11.8
固 定 資 産 合 計		75,751	68.5	75,037	66.7
資 産 合 計		110,664	100.0	112,547	100.0

(単位 :百万円未満切捨)

科目	期別	平成16年12月期 第1四半期 (平成16年3月31日現在)		(参考) 平成15年12月期 (平成15年12月31日現在)	
		金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)			%		%
.流動負債					
1.買掛金		4,182		5,779	
2.短期借入金		2,580		102	
3.未払金及び未払費用		8,756		8,563	
4.未払法人税等		149		368	
5.未払消費税等		379		801	
6.その他		1,916		1,942	
流動負債合計		17,964	16.2	17,558	15.6
.固定負債					
1.長期借入金		30		41	
2.繰延税金負債		282		158	
3.退職給付引当金		5,691		7,263	
4.役員退職引当金		161		209	
5.執行役員退職引当金		20		50	
6.連結調整勘定		17		18	
7.その他		538		551	
固定負債合計		6,742	6.1	8,293	7.4
負債合計		24,707	22.3	25,852	23.0
(資本の部)					
.資本金		6,499	5.9	6,499	5.7
.資本剰余金		24,819	22.4	24,819	22.1
.利益剰余金		54,213	49.0	55,287	49.1
.其他有価証券評価差額金		566	0.5	225	0.2
.自己株式		141	0.1	137	0.1
資本合計		85,957	77.7	86,695	77.0
負債及び資本合計		110,664	100.0	112,547	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

科目	期別	平成16年12月期 第1四半期 (自平成16年1月1日 至平成16年3月31日)	(参考) 平成15年12月期 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
・売上高		43,244	205,169
・売上原価		23,780	115,054
売上総利益		19,464	90,114
・販売費及び一般管理費		19,359	85,585
営業利益		104	4,528
・営業外収益		90	555
・営業外費用		160	422
経常利益		34	4,662
・特別利益		10	5,446
・特別損失		304	4,189
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前四半期純損失()		259	5,918
法人税、住民税及び事業税		147	667
法人税等調整額		204	2,231
当期純利益又は四半期純損失()		202	3,019

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位:百万円未満切捨)

科目	期別	平成16年12月期 第1四半期 (自平成16年1月1日 至平成16年3月31日)	(参考) 平成15年12月期 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
(資本剰余金の部)			
・資本剰余金期首残高		(24,819)	(24,819)
・資本剰余金四半期末(期末)残高		(24,819)	(24,819)
(利益剰余金の部)			
・利益剰余金期首残高		(55,287)	(53,991)
・利益剰余金増加高		(202)	(3,019)
当期純利益又は四半期純損失()		202	3,019
・利益剰余金減少高		(872)	(1,722)
1. 配当金		808	1,617
2. 役員賞与		63	105
・利益剰余金四半期末(期末)残高		(54,213)	(55,287)

4.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨)

科 目	期 別	平成16年12月期 第1四半期 (自平成16年1月1日 至平成16年3月31日)	(参 考) 平成15年12月期 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前四半期純損失()		259	5,918
減 価 償 却 費		2,420	11,652
退職給付引当金の増加・減少額		1,571	5,568
厚生年金基金代行部分返上益		-	5,215
役員退職引当金の増加・減少額		78	128
受取利息及び受取配当金		13	56
支 払 利 息		0	6
特 別 退 職 金		95	2,082
投資有価証券売却損益		5	14
関係会社株式売却益		-	200
固定資産除売却損益		200	1,118
売上債権の増加・減少額		2,140	862
たな卸資産の増加・減少額		577	746
仕入債務の増加・減少額		1,597	1,529
その他資産・負債の増加・減少額		1,169	804
役員賞与の支払額		63	105
そ の 他		284	665
小 計		404	7,964
利息及び配当金の受取額		13	45
利息の支払額		0	6
特別退職金の支払額		17	2,124
法人税等の支払額		407	3,022
営業活動によるキャッシュ・フロー		7	2,857
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		2,641	9,724
無形固定資産の取得による支出		153	503
投資有価証券の取得による支出		1	1,452
営業譲渡による収入		-	6,565
そ の 他		228	472
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,567	4,644
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額		2,500	-
長期借入金返済による支出		32	147
自己株式取得による支出		3	14
配当金の支払額		808	1,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,655	1,778
・ 現金及び現金同等物の増加・減少額		920	3,566
・ 現金及び現金同等物の期首残高		9,564	13,130
・ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		8,644	9,564